

議第9号 平成30年度福山市商業施設特別会計予算について日本共産党の討論を行います。

本会計は、福山市が所有する商業ビルに関する管理・運営事業の予算です。

リム福山の運営が5年目の節目を迎えるに当たり、中間評価が示されました。

その内容は、2013年9月のオープン時のテナント数57店舗が49店舗まで減少し、大和情報サービスによるリーシングにも関わらず、テナント誘致が極めて厳しいこと、ネット販売の拡大や郊外の大型店の出店による影響等による来店者の減少などの、厳しい実態が示されました。

新年度は、このような現状をうけ、当ビルの商業以外の活用も含め、今後のあり方を調査する、とのことであります。

わが党は、これまで再三に渡り、商業行為からいち早く離脱する

ことを求めてきましたが、現状を重く受け止めるべきであります。

当館は、建築後、相当年数が経過しており、今後は、改修のために多額の経費が発生し、財政を圧迫することが懸念されるため、除却、売却を検討するべきであります。

以上のべた理由により、反対を表明して討論といたします。